

News Release

平成19年7月31日

パイオニア株式会社 平成20年3月期 第1四半期 連結業績についてのお知らせ

1. 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	当 四 半 期 (平成19年4月 ～平成19年6月)	前 年 同 期 (平成18年4月 ～平成18年6月)	前 年 同 期 比
営 業 収 入	182,641	191,676	95.3%
営 業 利 益	1,323	7,077	18.7
継 続 事 業 税 引 前 利 益	16,185	8,004	202.2
継 続 事 業 当 期 純 利 益	12,331	5,546	222.3
非 継 続 事 業 損 益 (税 効 果 後)	—	116	—
当 期 純 利 益	12,331	5,662	217.8

(注) 前期において電子部品事業子会社を売却したことに伴い、これらの子会社に係る営業成績を、非継続事業損益として独立表示しています。

平成20年3月期第1四半期における連結営業収入は、カーナビゲーションシステムやDVDドライブの売上の増加および円安の効果があつたものの、主にプラズマディスプレイの売上が減少したことから、前年同期に比べ、4.7%減収の182,641百万円となりました。

営業利益は、主に売上の減少によって、ホームエレクトロニクスの損益が悪化したことにより、前年同期に比べ、81.3%減少の1,323百万円となりました。当期純利益は、所沢事業所および大森事業所(一部)の土地・建物の売却益11,903百万円を計上したことにより、前年同期に対し、約2.2倍の12,331百万円となりました。

なお、当四半期の為替レートは、前年同期に比べ対米ドル5.2%の円安、対ユーロ11.6%の円安でした。

カーエレクトロニクスの売上は、カーナビゲーションシステムとカーオーディオ製品の売上がともに増加したことにより、前年同期に比べ、6.2%増収の97,017百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、市販市場向けとOEMの売上がともに、国内で減少した一方、北米では増加しました。カーオーディオ製品については、市販市場向けの売上は、中南米で増加したものの北米で減少し、OEMの売上は、北米で減少したものの国内や中国で増加しました。なお、カーエレクトロニクスの売上に占めるOEMの構成比は約36%となりました。

国内外別の内訳は、国内は5.4%減収の32,458百万円、海外は13.2%増収の64,559百万円となりました。

当セグメントの営業利益は、売上の増加により、前年同期に比べ、1.0%増益の7,609百万円となりました。

問合せ先：コーポレートコミュニケーション部 IR室

電 話 (03) 3495-6773

ファクシミリ (03) 3495-4301

Eメール pioneer_ir@post.pioneer.co.jp

U R L <http://pioneer.jp/ir/>

ホームエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ、14.7%減収の69,431百万円となりました。プラズマディスプレイは、好調であった前年同期に比べ、大画面薄型テレビ市場における競争が激化したことや、欧米で新製品の導入にあたって現行製品の販売を慎重に計画していたことから、減収となりました。なお、ホームエレクトロニクスの売上に占めるプラズマディスプレイの構成比は、約34%となりました。また、DVDドライブの売上は増加しましたが、DVDレコーダーの売上は国内を中心に減少しました。

国内外別の内訳は、国内は11.3%減収の12,763百万円、海外は15.4%減収の56,668百万円となりました。

当セグメントの営業損失は、前年同期の452百万円に対し、5,437百万円となりました。これは、主に売上の減少によって、プラズマディスプレイの損益が悪化したことによるものです。

特許関連事業における特許料収入は、光ディスクに関する一部の特許権の期間が満了したことから、前年同期に比べ、91.5%減収の107百万円となりました。

当セグメントの営業損益は、前年同期の787百万円の利益に対し、76百万円の損失となりました。

その他の売上は、パッシブマトリクス型有機ELディスプレイの売上は増加しましたが、FA（ファクトリーオートメーション）機器の売上が減少したことにより、前年同期に比べ、9.1%減収の16,086百万円となりました。

国内外別の内訳は、国内は14.3%減収の10,355百万円、海外は2.2%増収の5,731百万円となりました。

当セグメントの営業損益は、単価下落による携帯電話用スピーカーユニットの損益悪化などにより、前年同期の293百万円の利益に対し、674百万円の損失となりました。

(注) 事業別セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

2. 連結財政状態

当第1四半期のキャッシュ・フローについては、営業活動においては、当期純利益12,331百万円や減価償却費8,717百万円および買掛金の増加23,919百万円などの増加要因はあったものの、受取手形及び売掛金の増加9,389百万円や棚卸資産の増加21,702百万円および未払費用の減少9,445百万円などの減少要因に加え、前期に大部分が入金された固定資産除売却損益12,923百万円などの調整により、全体では14,180百万円のキャッシュを使用しました。投資活動においては、新設の川崎事業所やカーエレクトロニクス関連などの設備投資15,460百万円、公開買付けによる東北パイオニア株式会社の株式取得費用13,704百万円などにより、27,653百万円のキャッシュを使用しました。財務活動においては、主に短期借入金の増加により、22,948百万円のキャッシュを得ました。

以上の結果、当四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末から15,314百万円減少し、86,506百万円となりました。

3. 連結業績予想

平成20年3月期連結業績予想については、次のとおり、平成19年5月14日に発表した数値からの変更はありません。

(金額単位 百万円)

	中間期			通 期		
	平成20年3月期 連結業績予想	平成19年3月期 連 結 実 績 (ご参考)	増減率 (%)	平成20年3月期 連結業績予想	平成19年3月期 連 結 実 績 (ご参考)	増減率 (%)
営 業 収 入	368,000	380,319	△3.2	835,000	797,102	4.8
営 業 利 益 (△損失)	△3,500	11,691	—	15,000	12,487	20.1
税引前利益 (△損失)	9,500	12,624	△24.7	29,000	△7,717	—
当期純利益 (△損失)	3,000	9,208	△67.4	12,500	△6,761	—

なお、連結業績予想における為替レートは、1米ドル=115円、1ユーロ=155円を想定しています。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等の特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

【連結財務諸表等】

4. 連結財務諸表等

(1) セグメント別営業収入

(金額単位 百万円)

		当 四 半 期 (平成19年4月～平成19年6月)		前 年 同 期 (平成18年4月～平成18年6月)		前 年 同 期 比
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
カ	内	32,458	17.8%	34,318	17.9%	94.6%
	外	64,559	35.3	57,018	29.8	113.2
ー		97,017	53.1	91,336	47.7	106.2
ホ	内	12,763	7.0	14,393	7.5	88.7
	外	56,668	31.0	66,988	35.0	84.6
ー		69,431	38.0	81,381	42.5	85.3
特	内	—	—	—	—	—
	外	107	0.1	1,261	0.7	8.5
許		107	0.1	1,261	0.7	8.5
そ	内	10,355	5.6	12,088	6.3	85.7
	外	5,731	3.2	5,610	2.8	102.2
の		16,086	8.8	17,698	9.1	90.9
連	内	55,576	30.4	60,799	31.7	91.4
	外	127,065	69.6	130,877	68.3	97.1
結		182,641	100.0	191,676	100.0	95.3

(2) 連結損益計算書

(金額単位 百万円)

科 目	当 四 半 期 (平成19年4月～平成19年6月)	前 年 同 期 (平成18年4月～平成18年6月)	前 年 同 期 比
営 業 収 入			
売 上 高	182,534	190,415	95.9%
特 許 料 収 入	107	1,261	8.5
計	182,641	191,676	95.3
営 業 費 用			
売 上 原 価	138,733	140,567	98.7
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	42,585	44,032	96.7
計	181,318	184,599	98.2
営 業 利 益	1,323	7,077	18.7
営 業 外 収 益 ・ 費 用			
受 取 利 息	1,790	949	188.6
為 替 差 損 益	429	601	71.4
支 払 利 息	△543	△399	136.1
そ の 他 (純 額)	13,186	△224	—
計	14,862	927	—
継 続 事 業 税 引 前 利 益	16,185	8,004	202.2
税 金	3,651	2,744	133.1
少 数 株 主 損 益	△92	246	—
持 分 法 投 資 損 益	△111	40	—
継 続 事 業 当 期 純 利 益	12,331	5,546	222.3
非 継 続 事 業 損 益 (税 効 果 後)	—	116	—
当 期 純 利 益	12,331	5,662	217.8

(3) 連結貸借対照表

(金額単位 百万円)

科 目	当四半期末 〔平成19年〕 6月30日現在	前年同期末 〔平成18年〕 6月30日現在	対前年同期末 増 減	前 期 末 〔平成19年〕 3月31日現在	対 前 期 末 増 減
(資 産 の 部)					
現金及び現金同等物	86,506	88,818	△2,312	101,820	△15,314
受取手形及び売掛金	131,186	121,240	9,946	117,875	13,311
棚卸資産	131,114	121,587	9,527	105,331	25,783
売却予定事業に係る資産	—	22,553	△22,553	—	—
その他の流動資産	77,674	70,534	7,140	69,066	8,608
流動資産合計	426,480	424,732	1,748	394,092	32,388
投資及び長期債権	28,146	27,011	1,135	27,219	927
有形固定資産	146,191	157,813	△11,622	146,475	△284
無形固定資産	18,824	19,440	△616	18,248	576
その他の資産	47,414	41,244	6,170	49,440	△2,026
資産合計	667,055	670,240	△3,185	635,474	31,581
(負 債 の 部)					
短期借入金	44,099	35,297	8,802	18,605	25,494
買掛金	119,062	111,404	7,658	93,351	25,711
売却予定事業に係る負債	—	15,249	△15,249	—	—
その他の流動負債	99,964	107,090	△7,126	130,757	△30,793
流動負債合計	263,125	269,040	△5,915	242,713	20,412
長期債務	85,021	88,888	△3,867	86,015	△994
その他の固定負債	23,945	24,044	△99	24,341	△396
負債合計	372,091	381,972	△9,881	353,069	19,022
(少 数 株 主 持 分)					
少数株主持分	2,479	13,730	△11,251	14,289	△11,810
(資 本 の 部)					
資本金	49,049	49,049	—	49,049	—
資本剰余金	82,995	82,947	48	82,983	12
利益剰余金	177,652	179,488	△1,836	165,321	12,331
その他の包括損失累計額	△4,756	△24,500	19,744	△16,784	12,028
自己株式	△12,455	△12,446	△9	△12,453	△2
資本合計	292,485	274,538	17,947	268,116	24,369
負債、少数株主持分 及び資本合計	667,055	670,240	△3,185	635,474	31,581
その他の包括損失累計額内訳					
最小年金債務調整額	—	△3,902	3,902	—	—
年金債務調整額	△5,099	—	△5,099	△5,009	△90
未実現有価証券保有益	8,087	8,803	△716	7,405	682
累積外貨換算調整勘定	△7,744	△29,401	21,657	△19,180	11,436

【連結財務諸表等】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位 百万円)

科 目	当 四 半 期 (平成19年4月～平成19年6月)	前 年 同 期 (平成18年4月～平成18年6月)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 当期純利益	12,331	5,662
2. 減価償却費及び償却費	8,717	9,152
3. 固定資産除売却損益	△12,923	188
4. 受取手形及び売掛金の増加額	△9,389	△11,730
5. 棚卸資産の増加額	△21,702	△17,241
6. 買掛金の増加額	23,919	7,665
7. 未払法人税等・未払人件費・ その他の未払費用の減少額	△9,445	△16,787
8. その他	△5,688	△1,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,180	△24,160
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 固定資産の取得による支出	△15,460	△8,320
2. 子会社株式の取得による支出	△13,704	—
3. その他	1,511	273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,653	△8,047
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金及び長期債務の増減	24,699	1,456
2. 配当金の支払	△872	△436
3. その他	△879	△820
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,948	200
IV 現金及び現金同等物の換算差額	3,571	△855
V 現金及び現金同等物の純減少額	△15,314	△32,862
VI 現金及び現金同等物の期首残高	101,820	121,680
VII 現金及び現金同等物の期末残高	86,506	88,818
フリー・キャッシュ・フロー (I + II)	△41,833	△32,207

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(金額単位 百万円)

	当 四 半 期 (平成19年4月～平成19年6月)		前 年 同 期 (平成18年4月～平成18年6月)		前 年 同 期 比	
	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益
カーエレクトロニクス	97,511	7,609	91,789	7,532	106.2%	101.0%
ホームエレクトロニクス	69,592	△5,437	81,514	△452	85.4	—
特 許 関 連	191	△76	1,261	787	15.1	—
そ の 他	24,621	△674	26,381	293	93.3	—
合 計	191,915	1,422	200,945	8,160	95.5	17.4
消去又は全社	△9,274	△99	△9,269	△1,083	—	—
連 結	182,641	1,323	191,676	7,077	95.3	18.7

- (注) 1. 当社の連結財務諸表は、セグメント情報の開示を除き、米国会計基準に基づいて作成されています。
2. 当社グループの事業区分別の主要製品は次のとおりです。
- [カーエレクトロニクス事業]
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、カースピーカー
- [ホームエレクトロニクス事業]
プラズマディスプレイ、DVDレコーダー、DVDプレーヤー、DVDドライブ、
ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクドライブ、オーディオシステム、
オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器
- [特許関連事業]
光ディスク関連特許の使用許諾
- [その他事業]
有機ELディスプレイ、FA機器、スピーカーユニット、電子部品、電話機、業務用AVシステム
3. 当期から事業区分を一部見直し、従来「ホームエレクトロニクス事業」に含まれていた電話機を、「その他事業」に変更しています。従って、(1)セグメント別営業収入 および (5)セグメント情報 における前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。
4. 前期において電子部品事業子会社を売却したことに伴い、これらの子会社に係る営業成績を、(2)連結損益計算書において、非継続事業損益として独立表示しています。
5. 当社は平成19年5月14日開催の取締役会において、67.1%所有の子会社である東北パイオニア株式会社を完全子会社とすることを目的として、同社の株式および新株予約権を公開買付けにより取得することを決議しました。この公開買付けは平成19年5月15日から平成19年6月19日まで行われ、その結果、当社は13,506百万円で30.5%の同社株式を取得し、株式所有割合は97.6%となりました。この公開買付けにより取得できなかった株式については、株式交換を実施する予定です。
6. 当社は当四半期に所沢事業所および大森事業所（一部）の土地・建物を売却しました。これに伴う売却益は、(2)連結損益計算書において、営業外収益・費用のその他（純額）に含めています。



平成20年3月期 第1四半期 財務・業績の概況〔米国会計基準〕

平成19年7月31日

上場会社名 **パイオニア株式会社** 上場取引所 東証第一部
 コード番号 6773 U R L <http://pioneer.jp/ir/>
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏 名 須藤 民彦
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役経理部長 氏 名 岡安 秀喜 T E L (03) 3494-1111

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日） (百万円未満四捨五入)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同期増減率)

	営業収入		営業利益		継続事業税引前 利益(△損失)		当期純利益(△損失)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	182,641	△4.7	1,323	△81.3	16,185	102.2	12,331	117.8
19年3月期第1四半期	191,676	20.4	7,077	—	8,004	—	5,662	—
19年3月期	797,102		12,487		△7,717		△6,761	

	1株当たり 当期純利益(△損失)		希薄化後1株当たり 当期純利益(△損失)	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	70	70	64	68
19年3月期第1四半期	32	46	29	48
19年3月期	△38	76	△38	76

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第1四半期	667,055	292,485	292,485	43.8	1,676	95		
19年3月期第1四半期	670,240	274,538	274,538	41.0	1,574	00		
19年3月期	635,474	268,116	268,116	42.2	1,537	22		

(注) 純資産は、米国会計基準に基づく資本合計を記載しています。また、自己資本比率および1株当たり純資産は、米国会計基準に基づく資本合計を用いて算出しています。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
20年3月期第1四半期	△14,180	△27,653	22,948	86,506				
19年3月期第1四半期	△24,160	△8,047	200	88,818				
19年3月期	16,752	△16,468	△21,673	101,820				

2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	5 00	5 00	10 00
20年3月期	*	*	*

(注) * 平成20年3月期の中間配当金および期末配当金は、業績等を考慮して今後決定する予定です。

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

平成20年3月期の連結業績予想については、平成19年5月14日に発表した数値からの変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、3ページをご参照下さい。